

2月18日(土)

国際交流協会 国際交流フェスティバル

世界各国の料理を試食しながら、地域の外国人と楽しく交流を深めるイベントを開催します。

とき 2月18日(土)

ところ 中央公民館

問い合わせ 国際交流協会事務局
局企画課内 ☎内線3223

食文化交流

■午後1時30分/3階第1講義室

内容 中国、スリランカ、タイ、インドネシアなどの料理が楽しめます

参加費 会員とその家族は無料、一般は100円
申し込み 不要。直接会場へ
※料理がなくなり次第終了
その他 試食用の箸や食器深めの皿やカップなどを各自持参してください

えいごであそぼ！
■午後1時〜1時45分/4階ホール

講師 ロスジェインズさん他
対象 5歳から7歳までの児童
定員 30人
参加費 無料

申し込み 2月15日(水)までに
国際交流協会事務局へ

タイ式エクササイズ体験

■午後2時/3階第2会議室
申し込み 不要。直接会場へ



昨年の食文化交流の様子

2月18日(土)

落語家が語る 笑いが高める地域力



三遊亭らん丈さん

真打ちの落語家であり、現役市議会議員でもある三遊亭らん丈さんがこれからの地域コミュニティの在り方などについて、落語を交えながら楽しく分かりやすくお話しします。

とき 2月18日(土)午後2時/3時30分

ところ 保健福祉センター4階 多目的ホール

参加費 無料

申し込み 不要。直接会場へ

その他 託児有り(1週間前までに予約してください)

問い合わせ 市民活動センター ☎8444へ

3月4日(日)

第8回利根町芸能祭

とき 3月4日(日)午前9時
ところ 利根観光会館

内容 舞踊、詩吟、民謡、コーラス、ダンスなど

※閉会式終了後にお楽しみ抽選会を行います。抽選券は、当日利根観光会館入口で配布します

問い合わせ 利根町芸能祭実行委員会事務局(利根町教育支所内) ☎内線121へ



3月11日(日)

第29回白沢町芸能祭

とき 3月11日(日)午前9時
ところ 白沢町振興局3階多目的ホール

内容 歌舞伎・獅子舞・和太鼓・民謡・ハーモニカ・コーラス・民踊・舞踊・大正琴・カラオケ・八木節・フラダンスなど

問い合わせ 白沢公民館 ☎2291へ



2月12日(日)

インドア 第28回市民室内ソフトテニス大会

とき 2月12日(日)午前8時30分開会

ところ 市民体育館

参加資格 市民、沼田ソフトテニス連盟会員(高校生は利根沼田の高校から推薦された人)

種目 男子・女子・高校の部

申し込み 2月7日(火)までに所定の用紙で沼田ソフトテニス連盟事務局(事務局員 師良 ☎3074)、市民体育館、白沢町・利根町教育支所へ

問い合わせ 体育課、またはNPO法人沼田市体育協会 ☎9444へ



3月20日(火)

第14回ぬまた駅伝大会

とき 3月20日(火)午前9時

ところ 沼田公園(1周1.8km周回)

チーム編成 監督1人、選手5人、補員2人以下

※監督は必ず成人で編成してください

種別(部門別、対象各部)

■A部門 9km(1区〜5区、各1周)

小学生男子・女子、中学生女子、一般女子、一般

■B部門 12.6km(1区・5区は各2周、2区〜4区は各1周)

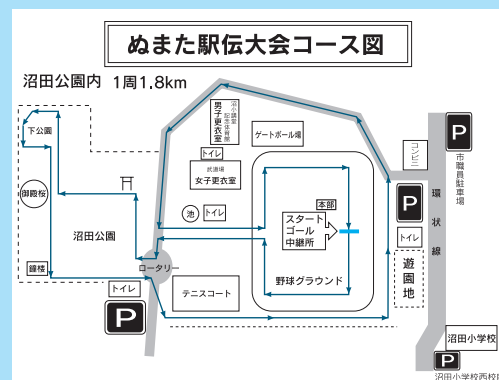
中学生男子、一般

参加資格 小中学生の部は利根沼田在住、または在学者、一般の部は県内在住、または在勤者

申し込み 2月24日(金)までに所定の用紙で市民体育館、または白沢町・利根町教育支所へ

※小中学生は、承諾書を添えてください

問い合わせ 市民体育館 ☎9444へ



公園内は、選手の通過に合わせて交通規制を実施します。皆様のご協力をお願いします。

沼田の河岸段丘を知ろう

河岸段丘と城下町

文・原澤直久

安土桃山から江戸時代の初めにかけて、大名たちは競って城の整備とともに、領国の首都である城下町を建設します。最大の城下町江戸を筆頭に、小さなものまで含めると全国に200を越える城下町がこの時期に突然出現しました。それぞれの町はやがて明治以降、日本の近代都市の骨格となっていくのです。

沼田もその城下町の一つですが、他の町とは大きく異なる特徴がありました。それは、周辺の農村地帯から70〜80メートルも高い河岸段丘面上に町がつくられたことです。岐阜や松山など高い山上に城が築かれた例はたくさんありますが、町がそっくりこのような高台に存在する例は他に見られないものです。

その結果、沼田は守りに固い城下町が出来上がりました。東側を除いた三方を天然の要害に囲まれた、段丘地形を見事に利用した城下町プランだったので、しかし、このプランには難し

い課題がありました。それは、町に住む人たちの生活用水の確保です。沼田ではそのために、はるか白沢町の高平や川場村から用水路を引いてきたのです。そしてその水は、細かい水路網で町の末端にまで行き渡らせます。水路網は段丘面のわずかな高低差を利用しながら巧みに各町を潤すものとなりました。町の設計と水路網は、城下町建設は世紀の大土木工事だったのです。このときの真田信之の大胆な発想こそが、今日の沼田を造る礎となったといえるでしょう。



城下町に水を供給した用水路 滝坂川(通称城堀)